

5 別府湾岸及び後背地域



別府湾の海岸崖地



カブトガニ



ミズワラビ

地域を特徴づける野生生物

- [植物] サンショウモ (A), オトメクジャク (B), ミズスギ (), ミズワラビ (), ツクシオオガヤツリ (A), カザグルマ (B), カワラサイコ (B), ツクシテンツキ () など。
- [動物] ニホンザル (準), アオギス (), アカオニグモ (準), プンゴキムラゲモ (地域個体群), ホラヒメグモ類 (地域個体群), カブトガニ (B) など。

天然記念物

- 「内成・田代のオトメクジャク」(県指定), 「高崎山のサル生息地」(国指定)

本地域は、国東半島の南東部と佐賀関半島に囲まれた別府湾岸及び八坂川、大分川、大野川などの中・下流域。主として沖積地や丘陵地で、年平均気温15の等温線が通る常緑広葉樹林帯。年間降水量約1,800ミリ。別府湾岸は北側に砂丘及び隆起による海食崖となり、砂丘にはコウボウムギ群落、崖地にはシイ林やタブ林などの海岸林が茂る。南側の海岸は砂丘が続いていたが、臨海工業地帯となってほとんど消滅してしまった。後背地の低地や丘陵地も人為が強く及び、自然環境のかく乱が著しい。低地や丘陵地にはイチイガシ林、スダジイ林やアラカシ林などが発達していたが、多くはスギやクヌギの植林、マダケ林などにかわり、谷沿いには棚田が開かれている。「鎮守の森」や急傾斜地、渓谷周辺などにわずかな残存自然林をみる。